中野サンプラザ実験報告

プロジェクト内容

中野サンプラザビルは、中野駅の北側に三角形の独特の形を持つ都内でも有名なビルで、1972年竣工の東京都内では比較的古い建築物である。当時としては極めてモダンな多目的ビルとして知られ、ホールでのライブや結婚式場、宴会場、ホテル、研修会場など都民に親しまれてきた。その間何度かのリニューアルを繰り返しつつ現在に至っているが、肝心の通信インフラとしては、都内の新しいビルに比べると遅れをとっていた。

今回、エレベータ管路内に300芯の光ファイバケーブルを通し、各フロアにある幾つかのホテルルーム、テナント、ホール、宴会場など100～1000Mbpsの伝送が可能な光ファイバケーブルを配線し、ブロードバンド化を図る。特にホールでのライブ中継を光ファイバを通して直接配線するなど画期的な試みも計画している。

今回の実証実験を通して、古い既存ビルでも最新の情報インフラを整備することができ、情報通信ビルとして蘇生することを実証する。また、今回の工事を通して、如何にテナントや客に迷惑をかけずにしかも短期間で完工できるかの実証もする。

5年(平成17年)12月23日　金曜日

エレベーター昇降路に光回線

古いビルもIT化

工事数日、安く簡単